

## 平成 23 年度 第 3 回理事会 議事録

日 時:平成 23 年 12 月 10 日(土)13 時 30 分～

場 所:北海道立総合体育センター 大研修室

【出席者】 近藤会長、杉本・花田・嶋倉・高橋副会長、紺屋・渋谷・阿部・大江・須田・碓井・三浦・杉木・酒出・櫻庭・大村・志手常任理事、川村・和田監事、山田・大原・西谷(光)・川村・西谷(清)・高橋・関原・小田島・田中・山内・大沼・奈良・佐藤・武田・阿部・鈴木・竹内・大橋・山崎理事、宇野代理、浅野主事

- 理事会に先立ち、JOCジュニアオリンピックカップ「第 25 回全国都道府県対抗中学バレーボール大会」北海道選抜チーム壮行会を行う。

### 1 開 会

※理事総数 47 名中 37 名の出席があり、会議は成立することを報告し開会する。

### 2 会長あいさつ

11 月 11 日から行われたワールドカップ 2011 女子札幌大会は、皆様のご協力により土日の入場券は完売し、最終日の視聴率は 19.4%となった。各理事に感謝とお礼を申し上げる。また、23 日には創立 80 周年記念式典を行うが、多くの方々のご臨席を願う。

### 3 協議事項

※会長の進行により会議が始まる。

#### (1) 平成 23 年度一般会計執行状況について

○理事会資料により 11 月 30 日現在の収入・支出執行状況について報告する。

(意見) 一般会計収入の中で加盟団体、チームの賦課金(登録料)が大きく占めているが、年々チーム登録は減少傾向にあり収入は減ってきている。一方、支出では加盟団体への助成費が加盟団体設立当初から変更されていない。この助成費は特に算出根拠が明確でなく、その時の北海道協会の財政状況や加盟団体の初期の活動の活発化や奨励を促す意味も含めて助成してきたものであり、財政状況が厳しい中でこの助成費に全く手を加えないでいいものか。一番新しいソフト連盟でも 20 年が経っている。それぞれの加盟団体は十分に自立し、成熟して活動している。チーム登録の現状や加盟団体設立当初等を勘案し、助成費の見直し検討の時期に来ている。このことは執行部から中々提案しづらい内容なのであえて話をしている。24 年度以降の予算編成から検討すべき。

(意見) 副会長の意見について理解はするものの、平成 24 年度からすぐに実施することになると各加盟団体にとって大変な問題なので、一定の期間を設けてもらいたいと考える。

#### (2) 平成 23 年度前期事業実施状況について

○理事会資料により委員会毎に前期事業実施状況について報告する。

※説明で特筆すべき事項及び質疑等は次のとおりである。

<競技委員会関連>

○MRSのみの大会参加申込を検討している。

(意見)高校選手権大会の開催時期は11月に固定することができないか。

(意見)新人大会もMRSによる大会の申込が可能となるよう開催要項を検討されたい。

<審判委員会>

○H23年度地区協会・加盟団体審判講習会報告の苫小牧の参加者は30名に訂正を願う。

○名誉審判員推薦者名簿一覧の日〇級申請者一覧については、審判委員会で認定済み。

○平成24年度から北海道級審判員のバッジは廃止し、ワッペンのみとする。

○北海道協会における帯同審判員制度について検討を進めている。

<一貫指導委員会>

(質問)研修会の実施が女子だけとなっているのはなぜか。

→毎年、男女交互に行っており、今年は女子だったために札幌山の手高校で実施した。講師は一柳環太平洋大学講師、モデルチームは国体少年女子チームと札幌山の手高校。

(意見)個人的に繋がりのある関係者で研修を行うのは好ましくないのではないか。

(3) 平成23年度全道大会開催地(案)について

○平成24年度大会開催地案のうち次の大会について一部追加・変更する。

①北海道高等学校バレーボール新人大会 2月9日(土)～10日(日)⇒2月8日(金)～10日(日)

②北海道6人制バレーボールクラブ選手権大会 2月16日(土)～17日(日)

⇒11月24日(土)～25日(日)で調整中

③全日本バレーボール小学生大会北北海道予選会 6月23日(土)～24日(日)…富良野

④全日本バレーボール小学生大会南北海道予選会 7月7日(土)～8日(日)…函館

⑤北海道中学校バレーボール大会 8月1日(水)～3日(金)

⑥道新カップ小学生バレーボール大会 11月3日(土)～4日(日)

⑦北海道スポーツ少年団交流大会 11月24日(土)11月25日(日)…芦別

⑧北海道小学生バレーボール大会選抜優勝大会 平成25年1月12(土)～14日(月)…江別

○平成23年度大会の小学生バレーボール大会選抜優勝大会の開催日は次のとおり。

・平成23年1月10日(月)～12日(水) ⇒ 平成24年1月7日(土)～9日(月)

○全日本9人制バレーボール優勝大会北海道予選会の開催会場はまだ確保出来ていないが、留萌市が羽幌町で検討している。

(4) その他

①特別会計基金積立金(案)について

○現在の「財政調整金」と「基金」を見直して、平成24年度からは「財政調整基金」、「特別事業等基金」、「強化・育成基金」の3基金を設けたい。なお、総額は約4千万円を想定しており、その積立比率は「1:1:2」で検討したい。また、「強化・育成基金」の活用については、その事業内容を具体的に示すようにしたい。

→3基金の創設について承認される。

②Vプレミアリーグ等助成金交付要綱の一部改正について

○要綱第2条第1項第2号の「全日本チームによる紅白試合」を削除し、本助成金対象から除外する。  
→原案どおり承認される。

#### 4 報告事項

##### (1) 組織検討委員会からの答申

※大橋組織検討委員会委員長から答申のあった「北海道バレーボール協会役員定数等に関する答申書」の内容について説明がなされる。

##### 【理事定数の改定】

理事の定数は現在の 47 名を 26 名に削減する。その理事選出方法は、登録チーム数 100 チームを目処に全ての地区協会並びに加盟団体から理事候補者を推薦してもらい、理事選考委員会において地区協会から 12 名、加盟団体から 4 名を選考する。また、会長指名理事(常任理事予定)は、理事長候補者 1 名、副理事長候補者 1 名、専門委員長 4 名の計 6 名とする。

なお、会長、副会長は、評議委員会において選出されると同時に理事となるが、副会長については現行の 4 名体制から 3 名体制に変更しスリム化を図る。

①地区協会 現行 25 名	→	改定後 12 名	(△13 名)
②加盟団体 現行 8 名	→	改定後 4 名	(△ 8 名)
③会長指名 現行 9 名	→	改定後 6 名	(△ 3 名)
④副会長 現行 4 名	→	改定後 3 名	(△ 1 名)
⑤会長 現行 1 名	→	改定後 1 名	( 0 名)
合 計		47 名	26 名 △21 名

##### <地区協会理事数の考え方>

現在、登録チーム数が単独で 100 チームを超えているのは、函館、札幌、旭川、帯広のみで、それぞれ 1 名の理事を選出。後志、小樽複合で 1 名、室蘭、苫小牧、日高で 1 名、江別、千歳で 1 名、岩見沢、美唄で 1 名、滝川、深川、東空知、富良野で 1 名、留萌、名寄、稚内で 1 名、紋別、北見、網走で 1 名、釧路、根室で 1 名、計 12 名とする。

##### <加盟団体理事数の考え方>

実業団、クラブ、ソフト、家庭婦人で 1 名、中学校体育連盟、小学校連盟で 1 名、大学、高校体育連盟は各 1 名、計 4 名とする。

##### 【常任理事定数の改定】

現在、理事長以下 16 名であるが、副理事長の定数を削減するとともに、各専門委員会の副委員長を削減して 8 名に削減する。

なお、常任理事会には、副委員長の代理出席を認めるとともに、必要に応じて、委員を招集出来ることと改善し、適切かつ迅速な対応が出来るように配慮する。

##### (2) 各委員会等

##### <総務委員会>

①MRS登録状況(11月30日現在)について

②東日本大震災義援金の集約状況について

・各種大会や地区協会及び加盟団体から送金いただいた金額が現時点で 143,453 円となっている。

年内は募金を受け付けるので協力を願う。なお、まとめ次第、協会が被災地3県協会同額になるよう上置きして送金する。また、平成24年度も3月理事会で取りまとめ義援金を送付する予定である。

③役員協力金の復活について

・前回の理事会で話題となった役員協力金を復活できないか検討中である。

(3)その他

①平成24年度 第3回ヴィンテージ8's バレーボール交流会 開催について

○開催地 小樽市

○大会日程 第1日(金) 14:00 委員長会議 17:00 代表者会議・開会式  
第2日(土) 9:00 予選グループ戦 18:00 交流会(ほぼ全員参加)  
第3日(日) 9:30 決勝トーナメント戦 表彰式・閉会式

○参加資格

・各都道府県協会及び全国各ブロックの推薦のあったチーム(原則2チーム)24チームとする。

・JVA登録の有無については問わない。

50歳以上の部～北海道1、関東以西19、沖縄4チーム

60歳以上の部～沖縄4、他県4チーム

②平成23年度全国ソフトバレー・レディース&メンズ交流大会結果報告書について

③UHB主催「レゴブロックワールドSAPPORO」入場券優先販売について

5 閉会